

施策分析シート（令和5年度）

No1

施策名	戦略的な政策形成と行政改革の推進	施策No	15-01	部課名	総務企画部総務企画課
				課長名	漆畑 内線 2140

関連部課名	総務企画部総務企画課				
--------------	------------	--	--	--	--

行政評価事業体系	分野	VII	計画推進のために		
	政策	15	目標の設定と管理による行財政運営の戦略的推進		

目的 戦略的・計画的な政策形成を図るとともに、効率的・効果的な区政運営を推進し、一層の区民サービスの向上や施策の充実を図る。区民へ事務事業等を分かりやすく説明し、区政への参画意識を高め、成果重視やコスト意識の醸成など、引き続き職員の意識改革を進める。

指	幸福実感指標名	指標の推移			指標に関する質問文
		2年度	3年度	4年度	
①					
②					
③					
④					

標	施策の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		2年度	3年度	4年度	5年度見込み	目標値(8年度)	
①	区政に関心がある区民の割合(%)	56.0	59.8	55.1	60.0	60.0	荒川区政世論調査結果より
②	行革の取組項目数	159	149	176	175	175	「あらかわ区政経営戦略プラン」に基づく取組数。
③							
④							
⑤							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	3年度	4年度	差額	勘定科目	3年度	4年度	差額
	行政費用	給与関係費	48,470	49,895	1,425	地方税等	0	0
物件費		5,602	7,378	1,776	国庫支出金	0	0	0
維持補修費		0	0	0	都支出金	0	0	0
扶助費		0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
補助費等		17,520	19,502	1,982	使用料及び手数料	0	0	0
減価償却費		137	137	0	その他	508	1,463	955
不納欠損・貸倒引当金繰入額		0	0	0	行政収入合計(a)	508	1,463	955
賞与・退職給与引当金繰入額		10,272	2,674	▲ 7,598	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 81,493	▲ 78,123	3,370
その他行政費用		0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
行政費用合計(b)		82,001	79,586	▲ 2,415	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 81,493	▲ 78,123	3,370
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 81,493	▲ 78,123	3,370

貸借対照表	勘定科目	3年度	4年度	差額	勘定科目	3年度	4年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債	2,381	2,329
不納欠損引当金		0	0	0	還付未済金	0	0	0
その他の流動資産		0	0	0	特別区債	0	0	0
固定資産	有形固定資産	0	0	0	賞与引当金	2,381	2,329	▲ 52
	土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	建物	0	0	0	固定負債	28,130	20,154	▲ 7,976
	建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0
	工作物等	0	0	0	退職給与引当金	28,130	20,154	▲ 7,976
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	442	698	256	負債の部合計	30,511	22,483	▲ 8,028
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産	▲ 27,069	▲ 18,785	8,284
	その他の固定資産	3,000	3,000	0	正味財産の部合計	▲ 27,069	▲ 18,785	8,284
	資産の部合計	3,442	3,698	256	負債及び正味財産の部合計	3,442	3,698	256

財務諸表に関する特措事項等

○行政費用では補助費の割合が高く、自治体シンクタンクの運営補助金の14,986千円が約77%を占めている。物件費の内訳としては、シンボルキャラクターグッズ作成委託等が約28%、行政評価システムの保守委託が約24%、残りが指定管理施設の社労士による実績評価の委託経費となっている。

○貸借対照表に計上している無形固定資産は、シンボルキャラクター等の商標権である。行政収入その他の内訳は、キャラクターグッズの売上金等である。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	<p>○昭和58年度に策定した「荒川区行財政体質改善基本計画」を皮切りに、着実に行財政改革を推進してきた。平成21年度からは選択と集中による行政資源の適正かつ効率的な配分により、経営的な視点を取り入れた『あらかわ区政経営戦略プラン』を策定することで「協働」「業務」「人事」「財務」の4つの戦略から、更なる行財政改革を推進している。</p> <p>○全ての政策、施策、事務事業を対象とした分析、評価を行う行政評価を毎年度実施することで、事業の改善や見直しを図っている。</p> <p>○行政評価では、成果指標と目標値を定めることにより効果的な評価、見直し・改善に努めている。また、平成26年度からは政策、施策の分析に「幸福実感指標（GAH指標）」を導入することで、区民の意向を評価に取り入れ、更には平成28年度から公会計を導入し、フルコストによる分析を行い課題や問題点を明らかにし、既存事業の改善や充実、新規事業立案に結び付けている。</p> <p>○令和元年度にサンセット方式を導入し、全ての事務事業を対象に分類を行い、終期設定が可能な事務事業に終期を設定し、令和2年度以降、サンセット方式の考え方にに基づき、終期を設定した事務事業を集中的に分析し、事業継続の可否を判断の上、事務事業の見直しを図っている。</p>
課題	<p>○社会経済情勢の変化に伴い、ますます多様化する区民ニーズに、区は限られた行政資源で的確に対応する必要がある。また、昨今の物価高騰等による景気の下振れリスクや、施設の更新など中長期的なスパンでの大規模な行政需要による今後の区財政への影響等も鑑み、将来にわたり、健全な行財政運営を継続していくための更なる行財政改革が必要となる。</p> <p>○そのためには、既存事業について、事業の効率化や必要性・有効性等を考慮し、改善・見直しに取り組むとともに、休止・完了の可能性のある事業の洗い出しを積極的に行うなど、持続可能な行財政運営を実現するための取組を加速していく必要がある。</p> <p>○また、事業や施設運営に要するコストについて、分析結果を区民に分かりやすく公表するとともに、区政運営に反映させ、PDCAサイクルを更に強固なものとしていく必要がある。</p>
今後の方向性	<p>○毎年度改定する「あらかわ区政経営戦略プラン」に基づき、これまでに実施してきた行財政改革の理念を継承しつつ、既存の業務改善に係る取組に加え、職員が主体的に提案し、具体的な取組につながる組織づくりを推進することで、区民サービスの向上と、より一層の効率化に全庁を上げて取り組んでいく。</p> <p>○サンセット方式の考え方に基づく行政評価を継続して実施していくことで、制度疲労を起こしている事務事業の廃止に繋げるなど、既存事業の徹底的な見直しを図る。</p> <p>○行政評価における新公会計制度を活用したフルコストによる分析評価を今後も継続することで、区民に対して、事務事業等をより分かりやすく説明していくとともに、安定した区政の運営を図っていく。</p>

施策の分類		分類についての説明・意見等
5年度	6年度	
重点的に推進	重点的に推進	新公会計制度と行政評価システムを連携することでより精緻な財務情報に基づいた分析、評価を実現するとともに、施設分析シート等も活用し、より戦略的・計画的な区政運営を実践していく。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための分類		分類についての説明・意見等
		3年度	4年度	3年度	4年度	5年度	6年度	
指定管理者制度の運用に関する調整	01-01-11	22,499	21,706	4,354	5,776	重点的に推進	重点的に推進	民間事業者のノウハウを活かしたサービスの向上と費用の縮減の両立を図るという制度の導入趣旨を踏まえ、全庁的な調整を図りながら、適切に運用していく。
行政評価の推進	01-01-12	18,815	17,236	1,804	1,804	重点的に推進	重点的に推進	今後も想定される厳しい財政状況の中で、真に必要な区民サービスを適切に提供していくために、不要不急の事業を見直し、選択と集中により、戦略的に事業を実施していく。
行政改革の推進	01-01-13	12,474	11,948	—	—	重点的に推進	重点的に推進	「あらかわ区政経営戦略プラン（令和5年度版）」に基づき、積極的に行政改革を推進していく。
自治体シンクタンクの運営支援	01-01-16	16,596	17,076	14,215	14,986	推進	推進	研究所の安定した運営に資するため、適切な支援を行う。
荒川区シンボルキャラクターの活用	01-01-17	7,493	8,058	552	2,476	推進	推進	区民の区への関心を高め、郷土への愛着を深めるとともに、区のイメージ向上等に資するため、推進する。
荒川区民総幸福度（GAH）の活用の推進	01-01-19	4,125	3,425	2,197	2,230	重点的に推進	重点的に推進	荒川区政が目標とする区民の幸福実感の更なる向上を実現するために積極的に取り組む必要がある。
合計		82,002	79,449	23,122	27,272			